

東郷村報

第51号

昭和31年3月15日 発行所 宮崎県東臼杵郡 東郷村役場 日向市富高新町 安藤印刷所 電話 64番

小、中学校卒業生の父兄の方へ

皆さんの子弟が六か年或は九か年の義務教育を終えられて卒業されたことを心から御祝詞申し上げます。

二七三名の小学校卒業生の御子弟は全員中学校に進学されて中学三年の義務教育を受けなければならないので、小学校の時以上に学校との連携を密にして御子弟が心身共に健康に中等教育を受けられますよう希望いたします。

滞納を一掃しよう

七〇〇万円に及ぶ村税の滞納を一掃し、又今後、滞納をつくらぬようにするにはどうすればよいか。と云うことについて一般納税者の声をきく為、去る二月十八日、区長、組合長、各種民主団体代表の参集をお願いして懇談した。色々と貴重な御意見、御批判があり、納税協力機構を確立すべきである」と言う結論に達しました。

確かに、今までの納税は納税組合で納められるのは一部分であつて、大部分が個人で役場に出かけて納めたり、徴税吏員の出張の際に納めたり納税者にとっては最も不便な方法であり、これが大きい滞納の原因であつたことが考えられると共に、納税組合で納められる納税者に、今までの納税は納税組合で納められるのは一部分であつて、大部分が個人で役場に出かけて納めたり、徴税吏員の出張の際に納めたり納税者にとっては最も不便な方法であり、これが大きい滞納の原因であつたことが考えられると共に、納税組合で納められる納税者に、



東郷小五年 有 弘 光

一生の内最も伸びる時代であり、また最も危険期でもあります。自我の覚醒の期であり、第二の反抗期であります。自主性強く、研究心旺盛な時代であります。この期を青年学級に学ばせ青年団に入団させて次代を背負う青年の育成につとめていたが、御承知のように青年期は

結婚簡素化に思う

本村で結婚の簡素化運動を展開したのは昭和二十三年であつたからもうすでに八か年を経たのであるが、今なおその実績のあがらぬのはどういふわけであらうか。その原因は色々あるが、結婚は村民の一人一人にこの運動が徹底しないためである。本年はさる年だつて見な

母を憶う歌

母を憶う歌 秋水
ふるさとの美々津の川のみなかにひとりし母の病みたまふとぞ
ふるさととは山のおくなる山なりきうら若き母の乳にすがりき
春あさき田じりに出でて野芹つむ母のこゝろに休みのあれ
余念なきさまには見ゆれ頼かむり母が芹つむきさらぎの野や

母親学級のアリに当りて

母親学級の先生から
昨年五月開講式をいたしました。厚く御礼申し上げます。感懐のないところで、魂の教育はごいませんと。どうぞお母様方、わが子の教育は母の愛の手にとりかえして下さい。子供の心の奥の奥、かすかに残る最後の線をひきだして下さるのには母の愛より外にはございません。子供に信じて、子供を認め、子供を賞めて、子供の内に立派な力をひきだして下さい。先生はよしを授けて下さる。母が慈を授ける管のものではありません。子供に於て世界の中で最も後に残る唯一の人は母以外にはありません。人はあきらめても母はあきらめません。最後まで信じます。そして子供にあらわれないすがたは、即ち母親のすがただと信じて下さい。子供を責めるまじに母親自身に反省し、懺悔し、そして子供に於ては、母の望む立派なすがたに於ては、母の感謝と感激、涙の勉強をさせていただきます。その反省と

母を憶う歌

母を憶う歌 秋水
ふるさとの美々津の川のみなかにひとりし母の病みたまふとぞ
ふるさととは山のおくなる山なりきうら若き母の乳にすがりき
春あさき田じりに出でて野芹つむ母のこゝろに休みのあれ
余念なきさまには見ゆれ頼かむり母が芹つむきさらぎの野や

新入学児童を持つ

お母さん方へ
桜の花と共に喜びにわく新入学児童のあの可愛い姿。多くのお母さん方はこれ又どんなにか希望に燃えるものがあるかと思ひます。希望が大きいだけに色々心がけていたきたいことがありますので、とくと御読み下さることを切望いたします。
一、おくるせう人に話が出来るしつけが大切
○おばれたら「ハイ」とはつきりへんじする。
○自分の名前がはつきり言える。
○自分の思っていることをはつきりいえる。
二、友達と仲よくあそべるようにする
○仲よしの友だちはいるか
○どんなあそびをしているか
○仲間はずれをすることはなか。
三、勉強はどの程度に教えておくか
○自分の名前をよめるようにしておく。
○自分の名前を書けるようにしておく。
○数は十位までかぞえることができる。
○その他の文字や数は無理に教えないこと。
四、生活のしつけ
○食事のしつけ
「いただきます」「ごちそうさま」
手を洗うこと。なんでも食べる。間食をしない。よくかんで食べる。
○睡眠のしつけ
早ね早起き。十時間位ねること。
「おやすみなさい」のあいさつ。
○便所のしつけ
大便秘は朝かならずする。小便でもあまりがまんしないこと。
○着衣のしつけ
自分で自分の服をぬいだり着たりすること。
五、言葉のしつけ
○幼児語(マンマ、ワンワン)をなくする。
○終りまではつきり言えること。
○おとうさん、おかあさん

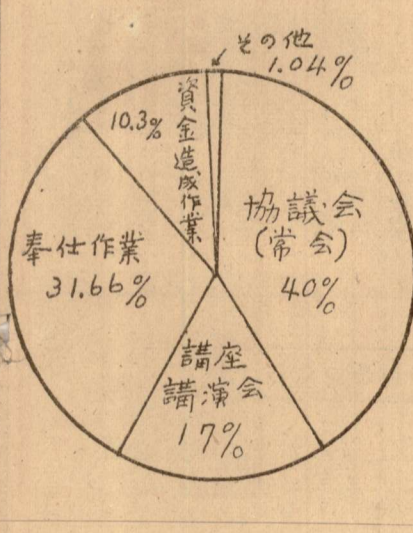
家庭菜園を整備しよう

秋から冬にかけて楽しい食卓を飾ってくれた大根や白菜、かぶらなどは収穫を終つて菜園には空地も出てきました。春から初夏にかけての食卓を賑わす玉葱、かぶら、分葱、ふだんそう、高菜、豌豆などが楽かつた冬を越してこれからは生育期に入りますので、すくすくと伸びられるように中耕や除草をして追肥を与えましょう。今の手が肥体のだらしい初夏への備えになります。豌豆はもう蔓が伸び始めますから小枝のある竹を立てて蔓が自由に巻きついて薄緑の美しい葉が下れるようにしましょう。
これから蒔付の時期のくるものに時無大根、三寸人蔘、五寸人蔘、牛蒡、小蕪などがありますので空地には早目に蒔きましょう。又夏の暑さを忘れる冷し西瓜や、まくわ瓜、トマト、そう快な味を持つ胡瓜、葱、菜用のじやがいも、里芋、南瓜、茄子、付け合せに無くてはならないしょうがやパセリも蒔付の時期になりますので遅れないように家庭菜園を整備して楽しい菜園に育てましょう。

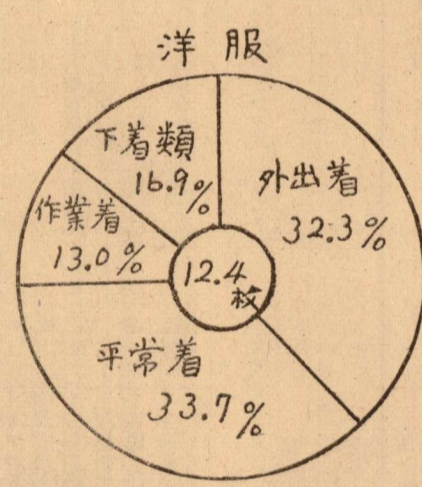
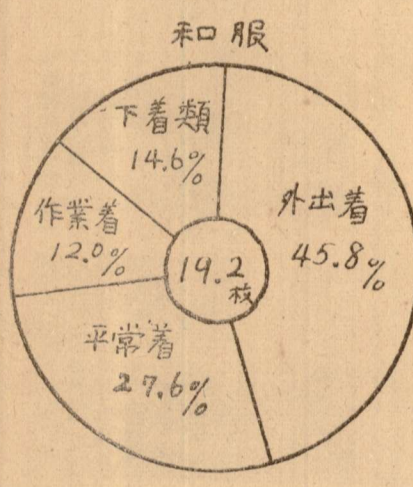
郷土の日常語

海野実門
△ササ、フササ
ホサキ(フサキ)
意……ササの穂先のようにスリ減らす(財産など)に事寄せた不幸不運。
解……台所などで使う竹製ササの穂先が散々にスリ切れて支離滅裂のトコから家財の減滅や一家離散などの悲境になぞらえたもの。
標準語……ササ、サキボウ(ササ、サキボウ)というに比べて此の「ササ、フサ」は簡明で軽妙至極。
用例……「家中病人だらけでササフサよ」

野	八重原	迫之内	鶴之内	小野田	福瀬	寺迫	各部	各部	各部
67名	57名	119名	143名	174名	249名	130名	各部	各部	各部
3	3	4	5	10	12	7	各部	各部	各部
・児童福祉	・生産増強 ・文化教養の向上	・副業の奨励 ・台所の改善	・家庭経済の高揚 ・青少年の輔導育成	・児童福祉 ・生活改善 ・文化教養の向上	・貯蓄の奨励 ・生産増強	・教養の向上 ・生活の合理化 ・台所の改善	各部	各部	各部
2.1.衣生活の改善 4.3.2.1.保育所の開設 2.1.乳幼児の検診 4.3.2.1.遊場の設置 2.1.寄生虫の駆除	4.3.2.1.堆肥の増産 3.2.1.自作の奨励 5.4.3.2.1.婦人講座の開催 2.1.道徳教育 4.3.2.1.婦人講座の開催 5.4.3.2.1.道徳教育	3.2.1.炭俵、ナフの増産 4.3.2.1.茶器類の完全消費 1.かまどの改良 2.1.明り窓の設置 3.2.1.食器類の完全消費	7.6.5.4.3.2.1.甘藷の早植栽培 4.3.2.1.冠婚葬祭の奨励 5.4.3.2.1.貯蓄心の高揚 3.2.1.取組の奨励 4.3.2.1.少子常会の開催 1.講話会の開催	3.2.1.季節保育所の開設 6.5.4.3.2.1.貯蓄の増進 5.4.3.2.1.台所の改善 4.3.2.1.環境衛生の徹底 3.2.1.元費の節約 2.1.読書の奨励 1.講話会の開催	3.2.1.貯蓄心の高揚 3.2.1.副業の奨励 3.2.1.堆肥の増産 3.2.1.副産物の活用	4.3.2.1.親子会の開催 4.3.2.1.読書の奨励 4.3.2.1.台所の改善 4.3.2.1.生活の合理化 4.3.2.1.台所の改善	各部	各部	各部



越表	坪谷	仲深	羽坂	田
107名	197名	126名	102名	
6	11	5	7	
・食生活の改善 ・副業の奨励	・生活の高めよう ・単位団体の育成	・生活改善 ・教養を高めよう	・台所の改善 ・教養を高めよう	・食生活改善 ・時間の励行 ・油類を多く食べる
5.4.味保存食の研究 3.甘藷の増産 2.1.家庭菜園の計画栽培 5.4.3.2.1.農産物の加工 4.3.2.1.茶器類の完全消費 1.かまどの改良 2.1.明り窓の設置 3.2.1.食器類の完全消費	7.6.5.4.3.2.1.清掃 5.4.3.2.1.消費生活の改善 4.3.2.1.貯蓄の増進 3.2.1.台所の改善 2.1.読書の奨励 1.講話会の開催	7.6.5.4.3.2.1.食生活の改善 5.4.3.2.1.生活の合理化 4.3.2.1.台所の改善 3.2.1.生活の向上 2.1.読書の奨励 1.講話会の開催	4.3.2.1.親子会の開催 4.3.2.1.読書の奨励 4.3.2.1.台所の改善 4.3.2.1.生活の合理化 4.3.2.1.台所の改善	5.4.3.2.1.時間の励行 5.4.3.2.1.油類を多く食べる 5.4.3.2.1.雑談の励行 5.4.3.2.1.読書の奨励 5.4.3.2.1.講話会の開催



生活状態表

生活改善の中でも、衣、食、台所については、婦人の手にまわるところが多い。本村に於ける実際の生活は、どうなつておられ、どこに改善の問題が残されているかを、次に調査した。

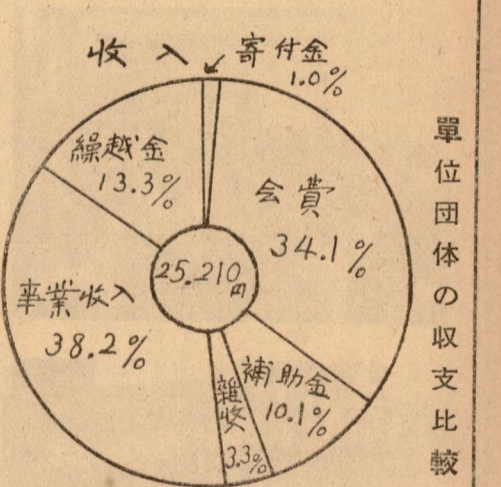
一、衣服について

(1) 本村主婦の平均枚数 (一五五名の平均)

(2) 利用(着用)割合

(3) 最近一ケ年間の衣服購入費

一人 二、七四二円

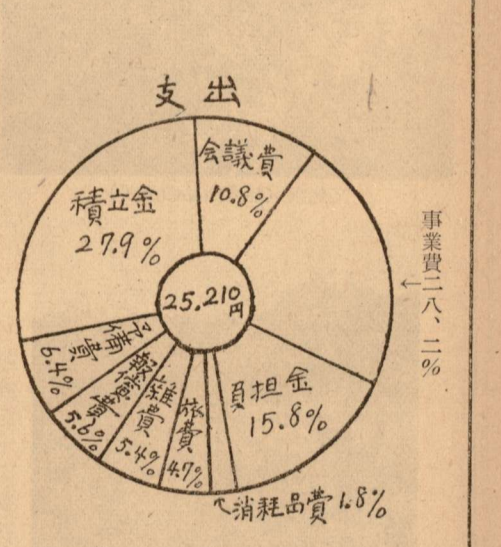
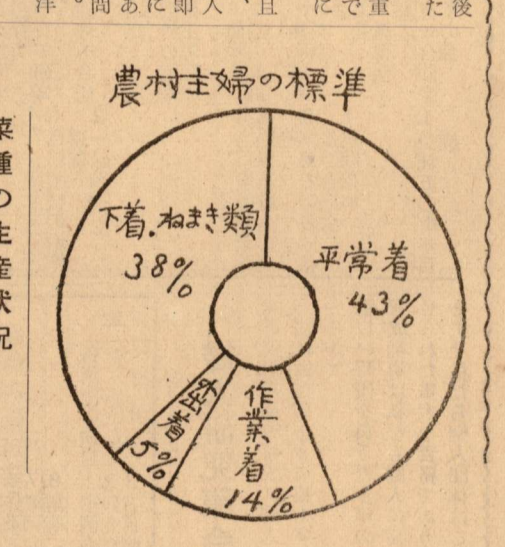


文化面調査

ラジオ	新聞	計	百分率	新聞	百分率
無線	有線				
三三〇	五五五	八八五	六三・七	五五五	四〇・三

養蚕の生産状況

年次別	戸数	生産量	積立	反当量	生産高	商品化	消費量
昭和十一年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和十二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和十三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇



編集後記

希望に胸をふくらませながら学窓を築立つ日も旬日のうちである。これ等の子等に幸あれかしと祈ると共に子等が触れられることなくすくすくと伸びるこの出来る社会環境でありたいものだ。

▲本村婦人連協が農教委から「婦人団体を中心とする村おこし活動」の研究を指定されて、一、二年、まことにさくやかな歩みであったが研究の結果を公開して色々御指導をうけることはうれし。

▲本号は特に「村婦協の研究経過の報告」として、そのため御投稿いただいた原稿は四月号に掲載することにした御了承を乞う。

田の中に
福荷の杜の霞みけり



昭和三十年度貯金高調べ (三、三二五現在)

種目	金額	実績	比率(%)
計	三、三二五	三、三二五	一〇〇
農協貯金	一、〇〇〇,〇〇〇	九七〇,〇〇〇	九七
団体貯金	一、〇〇〇,〇〇〇	九七〇,〇〇〇	九七
個人貯金	一、〇〇〇,〇〇〇	九七〇,〇〇〇	九七

婦人の読書調べ (雑誌)

区分	毎月よむもの	時々よむもの	全くよまぬもの
区	三〇%	四九%	二一%
婦人雑誌	三〇%	四九%	二一%
子供雑誌	三〇%	四九%	二一%
農業雑誌	三〇%	四九%	二一%
文芸雑誌	三〇%	四九%	二一%

公開日程

10,000-10,100 開会式
10,100-10,200 本村社会教育の現状について
社教主事 志知島敏身
(2,800-11,200) 発表
経過報告
村協協長 塩月みどり
部落協議会活動について
鶴之島協長
寺原とし子
単位グループ活動について
いづみ会会長
田代みやえ
11,000-11,100 質疑応答
中 食
11,000-11,100 研究協議
新生活運動の隘路と
その打開策
11,000-11,000 講評、感想
11,000-11,100 閉会式

宮崎県 婦人団体の歌

一、さわやかな 希望の夜あけ
生活の 窓をひらきて
進もうよ
いざいざ民主の道を
めざめたる
誇りは清く美しく
はまゆりの
花とかおるよ
あゝわれら
宮崎県婦人団
二、ふるさとの 海辺山辺に
新しき
理想をかざして
いざいざ文化の園を
豊かなる
知性は日々の幸を生み
霧島の
雲に映えるよ
あゝわれら
宮崎県婦人団
三、雨風を つらぬく力
汚れなき
ところあわせて
築こうよ
いざいざ平和を永久に
うたごえは
山なみとおくこたまして
はるばると
黒潮わたる
あゝわれら
宮崎県婦人団

三、婦人団体活動実績
昭和三十年度村協協、月別活動表

Table with 4 columns: 月項目 (Month/Item), 会名 (Association Name), 議題名 (Topic Name), 議決及び実施事項 (Resolution and Implementation Items), 責任者 (Responsible Person). Rows 1-12 cover various activities from January to December.

Table with 4 columns: 月項目 (Month/Item), 会名 (Association Name), 議題名 (Topic Name), 議決及び実施事項 (Resolution and Implementation Items), 責任者 (Responsible Person). Rows 13-24 cover various activities from January to December.

家庭菜園の作付と計画

Table with 4 columns: 種類 (Type), 作付計画 (Planting Plan), 実績 (Actual), 比率 (Ratio). Lists various vegetables and their planting/actual status.

結婚費調査

Table with 4 columns: 性別 (Gender), 人員 (Personnel), 調査結果 (Survey Results), 平均入費額 (Average Expense). Shows marriage expenses by gender.

Table with 4 columns: 月項目 (Month/Item), 会名 (Association Name), 議題名 (Topic Name), 議決及び実施事項 (Resolution and Implementation Items), 責任者 (Responsible Person). Rows 25-36 cover various activities from January to December.

若山牧水先生



若山牧水先生

明治、大正、昭和の歌壇を通じてわが若山牧水先生ほど広く一般から敬愛されている歌人はあるまい。昭和三年九月十七日沼津千本松原の蔭の家に長逝されてから既に二十九年、先生の歌は益々ひろく愛誦されて

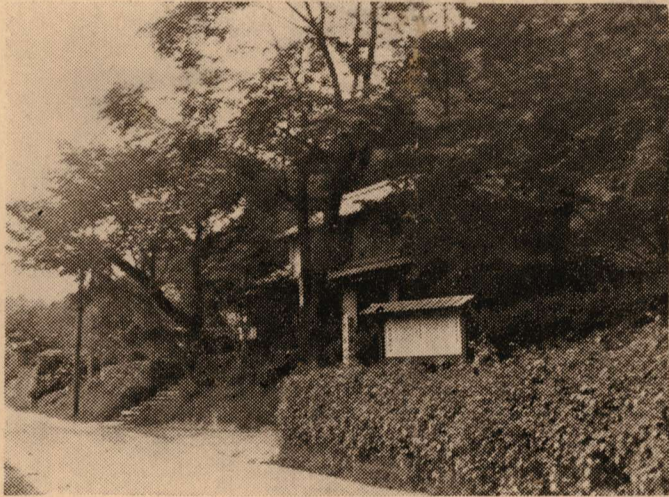
幾山河越えさきりゆかば寂しきのはてなむ国ぞけふも旅ゆく
白鳥はかなしからずや空の青海の青にも染ますただよふ
白玉の園にしみとほる秋の夜の酒は静かに飲むべかりけり
うす紅に葉はいちはやく萌えいでて咲かむとすなり山ざくら花
というようなその代表作は今や殆んど誰れ知らぬ者もないという位にまでなっている。

牧水先生こそは日向の最大の誇であり、先生を生んだことによつて東郷村は永遠に文化日本の聖地の一つとなつたのである。

牧水先生は明治十八年八月二十四日、本村坪谷に生れた。五才の時一家をあげて西郷村に移り、八才の春、田代の小学校に入学したがまもなく本村羽坂小学校に転校して山陰の叔父の家から通学した。その秋一家と共に坪谷に引揚げ、坪谷小学校に入学した。

明治二十九年三月坪谷小学校を卒業し延岡の高等小学校に入学した。明治三十

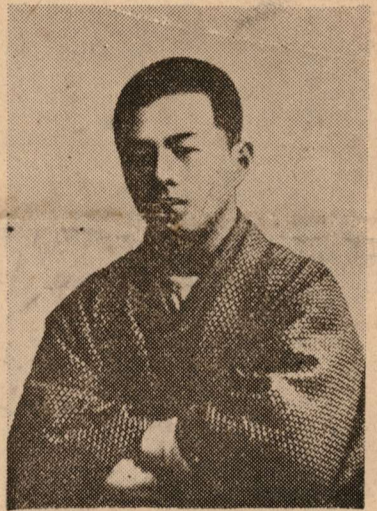
(牧水生家)



ふるさとの
尾鈴の山の
かなしさよ
秋もかすみの
たなびきて居り

わが庭の竹の
林の浅けれど
くる雨みれば春は
来にけり ね水

延岡中学時代の牧水



桜の歌

牧水

うらうらと照れる光にけぶりあひて咲きしづもれる山ざくら花
いついつと待ちし桜の咲きいでて今は盛りか風吹けど散らす
萌えたてるうすべにの葉のゆたかにて花いまだしき山ざくら花
春は来ぬ老いにし父の御ひとみに白うつらむ山ざくら花
咲き満てる桜のなかのひとひらの花の落つるをしみじみと見る
山桜咲けりともなし明けがたのこのひとときの空のあかりに
山ざくら散りのこりるてうす色にけれなるふむ葉の色ぞよき
花も葉も光りしめらひわれの上に笑みかたむける山ざくら花

早稲田大学時代

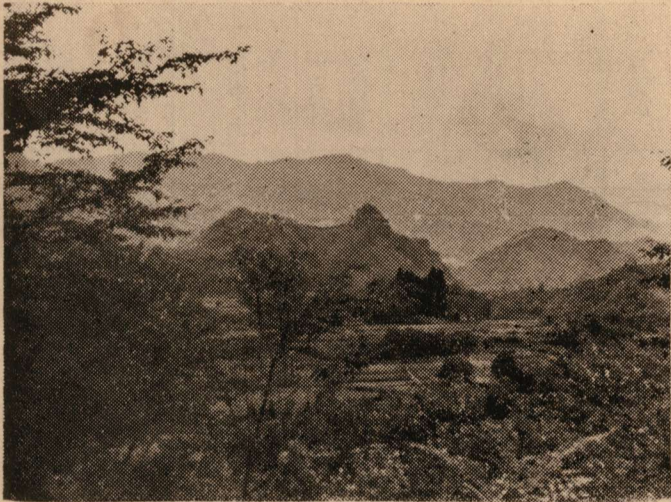
(向つて右より牧水、中村蘇水、北原白秋)



旅姿の牧水



(生家より尾鈴山の遠望)



酒の歌

牧水

秋かせや日本の国の稲の穂の酒のあちはひ日にまさり来れ
かんがえて飲みはじめたる一合の二合の酒の夏のゆふぐれ
酒のべばなみだながるるならはしのそれもひとりの時に限れる
かなしみに心もたゆく身もたゆく酒ものうし泣きぬれてるむ
ものいはぬ我にすすむるうす色の昼のひや酒妻もかたらず
時をおき老樹の雫おつること静けき酒は朝にこそあれ
ゆうぐれを勞れて酌める一つの酒はなかなかさびしくぞ酌む
静心しづまりかねつ酒持ちて秋山さして出でゆく

(歌碑祭の風景)

